

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

新年度講座・教室の詳細紹介 温故知新で新しい風を

おとなのやりなおし英語

会場：小須戸地区公民館 2階 学習室
対象：成人 定員：20人 参加費：無料
申込締切：6月30日(月)
開催時間：午後7時30分～9時

回	日にち	テーマ	講師
1	7月7日(月)	自己紹介ゲーム	Frank Greenrose (ジョージア大学卒業、ノースカロライナ出身、現在五泉市在住)
2	7月14日(月)	旅行で困らない英会話	
3	7月28日(月)	外国人に声をかけられたとき	

小須戸の歴史さんぽ

会場：小須戸地区公民館 (1回目、3回目)
水田集落開発センター (2回目)
対象：成人 定員：20人 参加費：無料
申込締切：6月27日(金)
開催時間：午後1時30分～3時30分

回	日にち	テーマ	講師
1	7月2日(水)	新潟市民文化遺産認定 ～こすど町並み(織屋)歴史散策～ ※歩きやすい服装でお越しください	まち歩きガイド 長井 利夫
2	7月9日(水)	語り継ぎたい水との戦いの歴史 ～水田の場合～ ※講話と散策	元小須戸町史 編集委員 木村 宗文
3	7月23日(水)	遺跡発掘からわかったこすど の歴史～大沢谷内遺跡の発掘から～	新潟市文化財 センター職員

四月号で、小須戸地区公民館の平成二十六年事業の概要をお知らせしましたが、内容が確定したものを順次紹介していきます。
「ご承知のとおり、現公民館の利用は今年が最後になります。様々な事業を計画しています。是非、たくさんの方の参加をお待ちしています。」

※ 申込み先は、いずれも小須戸地区公民館へ



中学生と地域の方が協力して花壇作り

小須戸中学校一、二年生が五月十三日と十四日の二日間地域貢献活動「チャレンジ」を行いました。
十三日は矢代田地区で「矢代田花いっぱい」運動として矢代田駅西口と国道四〇三号沿いのプランターや花壇に花の苗を植えました。矢代田保育園児と、山の手コミュニティ協議会の「花の会」や「花水隊」の人たちと協力しながら二百五十人で花壇に「小須戸」の花文字を作ったり、ゴミ拾いをしました。



まちの雁木を心をこめてピカピカに清掃

十四日は小須戸地区で「小須戸まちなみ美化」活動として小須戸商店街の雁木と町屋の清掃を行いました。
一、二年生が協力しながら丁寧に掃除を行い、地域の宝である町屋の構造なども学びました。
両日とも地域の人たちと交流しながら自分たちの住んでいる「まち」を美しくしておおいに社会貢献をすることができました。

地域とつながり まちを美しく

先日、兵庫県にある「竹田城跡」を訪ねました。
今から六〇〇年前、織田信長の時代に建てられた日本一の山城です。「日本百名城」に選定された城の一つのことと。標高三五三mの山頂に位置し、しばしば早朝に山霧がかかることで、東洋のマチュピチュと呼ばれています。今は城跡のみですが、最近CMなどでも使われ、以前映画のロケ地にもなったとのこと



三浦 政雄 さん (矢代田)

「急激な観光客の増加で城跡が破壊される」と新聞でも紹介されました。城跡には、途中までは地元観光地のマイクロボスで行き、その後徒歩十五分程で到着します。
築城時、どうやって石を確保し、こんな場所に運んだのか分かっていないとのこと。
今放映中のNHKの大河ドラマの地と重ね、感銘を受け旅でした。

大正琴で交流 大舞台での演奏で感動

全国の大正琴愛好グループが一同に会する「琴リンピック新潟2014」が五月十八日、中央区の新潟市民芸術文化会館で開催されました。
この大会には、小須戸の大正琴グループをはじめ、県内外の二十三グループ約五百三十人が参加しました。
琴リンピックは全国の大正琴愛好者が演奏等で交流する場として十五年前に初めて新潟で開催されました。この日のため熱心に練習に励んできた小須戸大正琴愛好会は、「大きな舞台で演奏できてとても感動しました。新潟は、県外からの出演者のおもてなしが素晴らしいと感謝されたことがうれしかったです。」と一大イベントに参加した感想を話しました。

小須戸さつきまつり 色とりどりの銘品並ぶ

五月十七日から六月二日にかけて、県下最大級のさつき展示即売会「小須戸さつきまつり」が、総合交流拠点施設「うらこすど」で行われました。
この即売会は、小須戸、白根地域のさつき生産者が一同に介して開催されたもので、会場いっぱいには鮮やかな赤や柔らかなピンク、白と色とりどりの花々が並びました。
また、三十日からは生産者と愛好家による「小須戸さつき展」が、小須戸さつき会主催で行われ、秋葉区内外から約七十点の作品が展示されました。
丹精込めて育てられた銘品が、花・木の大きさ等で分けられた部門で県知事賞等各賞を受賞されました。
来場者は「初めて来たが、写真より実際に本物を見ることができて感動しました。」と熱心に鑑賞していました。
なお、秋葉区内の受賞者は次のとおりです。
【総合の部】 小林 清克
新潟県知事賞 小柳 克彦
【銘花中型の部】 小須戸花木振興協議会長賞 小柳 克彦
小須戸花木振興協議会長賞 小柳 克彦
【銘花大型の部】 青木 秋一
新潟さつき農業協同組合長賞 青木 秋一

「急激な観光客の増加で城跡が破壊される」と新聞でも紹介されました。城跡には、途中までは地元観光地のマイクロボスで行き、その後徒歩十五分程で到着します。
築城時、どうやって石を確保し、こんな場所に運んだのか分かっていないとのこと。
今放映中のNHKの大河ドラマの地と重ね、感銘を受け旅でした。



見事な花々に時を忘れ鑑賞する来場者

第69回 県展入選者

5月30日から開催された「第69回新潟県美術展」に小須戸地区から8人が入選されました。おめでとうございます。
入選者は次のとおりです。なお、今回は紙面の都合により、お名前のみ掲載しました。

- 洋画部門 村山 成夫 (舟戸)
- 版画部門 石田美根子 (松ケ丘)
- 写真部門 本間 栄子 (小須戸) 風間ヤヨエ (新保)
- 高山信市郎 (新保) 横山サチ子 (新保)
- 大塚 耕栄 (鎌倉) 野崎 義和 (横川浜)

「文芸あきは」第8号 作品募集

- 募集作品 随筆、小説、(戯曲、童話を含む)、詩、漢詩、短歌、俳句、川柳の7部門
※一人につき各部門1作品 (2部門まで応募可)
- 対象 秋葉区に在住、または通勤、通学の人および秋葉区出身の人
- 参加費 一人につき投稿料1,500円
応募された人全員に作品を収録した「文芸あきは第8号」を呈呈。
- 応募方法 作品に応募票と投稿料を添えて郵送の場合は振込取扱票をご利用ください。(振込手数料は投稿者負担)
- 応募締め切り 平成26年7月31日(木)
- 応募先 新津地区公民館 新津文芸協会事務局
(電話22-9666)
- 主催 新津文芸協会 新津地区公民館
※応募票は小須戸地区公民館、新津地区公民館、新津地区市民会館 秋葉区役所等にあります。

青空の下 伝統芸能復活!!

五月二十四日(土)に行われた小須戸小学校運動会で全校児童が、「小須戸音頭」と「小須戸甚句」を青空の下元気づけの踊りを行いました。息がぴったりで楽しそうに踊り、甚句の樽囃子が響き渡りました。

昔小須戸音頭が「子どもの盆踊り」、小須戸甚句が「大人の盆踊り」として踊られていましたが、六十年ほど前から小須戸音頭がほとんど忘れられ、途絶えていました。

四年前の小須戸火災後、地域を元気にしようとして小須戸音頭の継承に文化協会やコミュニティ協議会が立ち上がり、講習会が開かれました。しかし、東日本大震災が起ったため、一旦やむやみになりましたが、再び地域の伝統復活の気運が高まりました。

「郷土の宝」として残していくため、今まで踊り継がれてきた小須戸甚句とともに、児童が小須戸音頭を踊ること



息ぴったりな踊りと演奏



主催者である村井豊小須戸小学校区コミュニティ協議会事務局局長は「地域の人の地元に再認識していただくことはもちろんですが、まち歩きガイドを育成することも目的にしています」と話していました。

地域を見直そう!

五月二十八日(水)、小須戸小学校区コミュニティ協議会主催の「町並み歴史散策」が行われました。

これは、小須戸の町屋、町並みが、昨年度創設された新潟市文化遺産に認定されたことを記念して実施されたものです。

快晴の中、参加した十二人は、長井利夫まち歩きガイドの説明を聞きながら、「地元に住んでいるが、初めて知り、地域の良さを再認識しました」「ここに、こんないい小路があることは知りませんでした。」などの感想を口にしていました。

ロマンボール展

町屋ギャラリー薩摩屋で小須戸地区の住民サークル「ロマンボール教室」の作品展が開催されます。
華やかで夢のある作品をぜひご覧ください。

日時：6月21日(土)～7月13日(日)
の土・日・祝祭日のみ
午前10時～午後6時

会場：町屋ギャラリー薩摩屋
主催：小須戸ロマンボール教室

公民館図書室 利用者懇談会の案内

来年4月から小須戸地区図書室が新コミュニティセンターでリニューアルオープンします。
利用者サービスの充実などを図った新しい図書室の利用について、利用者の皆さんと話し合う場を設けましたのでご参加ください。

日時：6月27日(金)
午後7時～8時30分

会場：小須戸地区公民館 サークル室
主催：新津図書館 (電話22-0097)

おはなしのせがいで

毎月第3土曜日午前10時30分から開催

6月開催日 6月21日(土)
7月開催日 7月19日(土)

～こわいおはなし会～
おはなし 「黒いお姫さま」
えほん 「おしくらまんじゅう」
「かようびのよる」

プレゼントがあるよ お楽しみに!

会場：小須戸地区公民館 会議室
読み手語り手：おはなしほけっと
主催：小須戸地区公民館

新刊案内

- 小須戸地区公民館●ふれあい会館
- 【一般書】
- ・さようなら、オレンジ (岩城けい)
- ・100%得をするふるさと納税生活 (金森茂樹)
- 【児童書】
- ・びーかーぶー! (新井洋行)
- ・点字って、なに? (矢玉四郎)
- ほか多数

文芸欄

短歌	川柳	俳句	句
<p>梨柳の横を通れば波のごと 袋は風にふれあいて鳴る つれあいの植えし垣根の郁子の花 朝露ひかるをしばし眺める</p>	<p>合掌の苔むす屋根にある歴史 新緑へコタツの影が薄くなる 老二入縁茶と菓子で和む朝</p>	<p>二眼目の緑茶が醸す至福時 花は葉に眠りしままの君なれど 化粧水たつぷりと掌に夏は来ぬ</p>	<p>竣工す櫻に映ゆる鬼瓦 朝ざくら今日を信じて仰ぎけり 音たてて風吹く朝の初つばめ 爽やかに八十路の春を迎へけり 朝日さし若葉あざやか大樺 舗装路の際にたんぼほ咲きにけり 鎌研ざし老爺が一人草萌ゆる 花は葉に眠りしままの君なれど 化粧水たつぷりと掌に夏は来ぬ</p>
玲泉	高橋キヨ	会田修	保科志枝 能登としお 増井都留 馬場綾子 佐久間久子

シリーズ 「今、子どもたちは」(206)

子どもたちの安全を守る
体験型安全教室

矢代田小学校

入学後間もない一年生に、体験型安全教室を実施しました。この事業は新潟市安全・安心推進室が市内全ての学校の一年生を対象に実施しています。これまでの不審者対応訓練と比較して、子どもたちの目線と分かりやすくしたプログラムになっています。プログラムの子どもたちが危機や違和感を察知して、離脱行動をとる訓練をする内容です。具体的には、不審者と出会ったときに、自分の「ふうせん」(パーソナルスペース)より近づいた時に違和感を



自分の「ふうせん」より不審者を近づけない

を感じることも。また、防犯ブザーや大声を出して誰かに知らせること。そして、ランドセルを脱ぎ捨てて命を守るなどの練習でした。

実際にあつては困りますが、一人一人が体験できるとてもよい訓練でした。

校長 渡辺真也

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)住所、氏名(ペンネーム可)電話番号を明記し6月20日(金)までに小須戸地区公民館へ。